

(参考)

手賀沼底質における深度別放射性物質（3回目）について

平成28年3月29日
千葉県環境研究センター
電話 0436-21-6371

環境研究センターでは、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により拡散した放射性物質について、県内の閉鎖性水域を中心とする汚染実態等を把握することで、今後の放射性物質の移動・移行等に関する知見を得ることを目的に放射性物質動態調査を行っています。

底質の放射性物質濃度が比較的高い手賀沼について、5地点で深度別放射性物質調査（3回目）を行った結果は次のとおりでした。

1 調査概要

- (1) 調査時期 平成27年8月3日（月）、平成27年9月14日（月）
- (2) 調査実施機関 環境研究センター
- (3) 調査地点 手賀沼5地点（図1のとおり）
大堀川河口、大津川河口、根戸下、手賀大橋下流（今回追加）、手賀沼中央
- (4) 調査方法
底質について柱状採泥器により採泥（深さ約35cm）し2cm～5cmの層毎に分析
- (5) 調査項目 放射性物質濃度：放射性セシウム（セシウム134，セシウム137）

2 調査結果概要

- (1) 底質の深度別放射性セシウム濃度(134及び137の合計)について（図2）

各地点の底質中に含まれる放射性セシウム最大濃度は、前回調査（平成26年8月及び9月実施）に比べ2～4割程度濃度が低下していた。

底質の深度別における放射性セシウムの状況は、大堀川河口で最大濃度の深度が前回（深度4～6cm）よりも深い位置（深度10～12cm）に見られ、手賀大橋下流では前回（深度8～10cm）よりも浅い位置（深度4～6cm）に最大濃度が見られた。それ以外の地点では、前回と比較して大きな変化は見られなかった。

(2) 地点底質の放射性セシウム濃度(134及び137の合計)及び最大値となった深度

- 大堀川河口 : 不検出～4,210 Bq/kg(乾泥)(深度10～12cm)
- 大津川河口 : 53～5,300 Bq/kg(乾泥)(深度18～20cm)
- 根戸下 : 不検出～4,280 Bq/kg(乾泥)(深度10～12cm)
- 手賀大橋下流 : 不検出～920 Bq/kg(乾泥)(深度4～6cm)
- 手賀沼中央 : 不検出～1,320 Bq/kg(乾泥)(深度4～6cm)

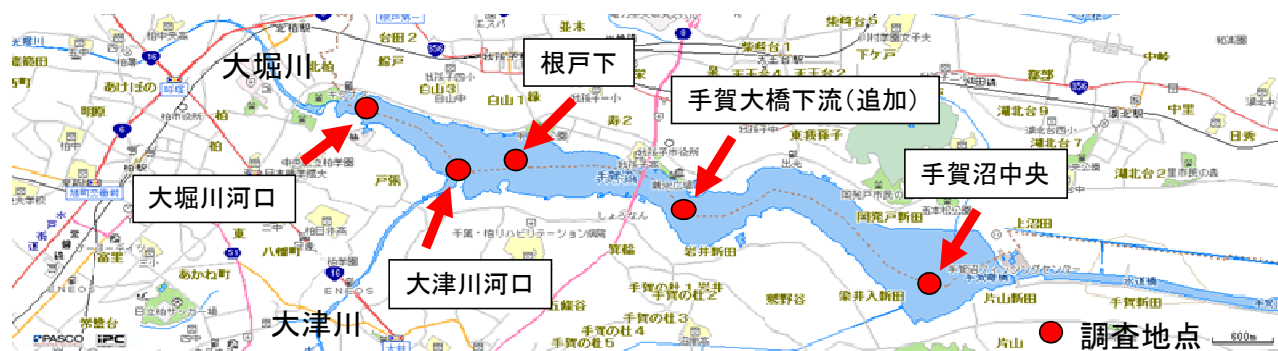


図1 調査地点

今回調査（平成27年8・9月）の結果

前回調査（平成26年8・9月）の結果

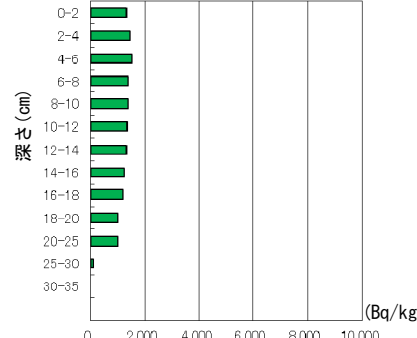
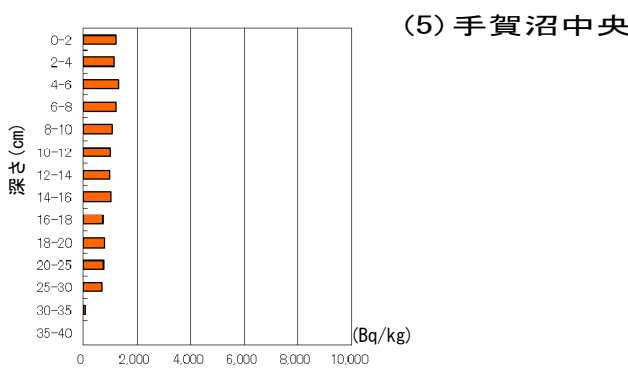
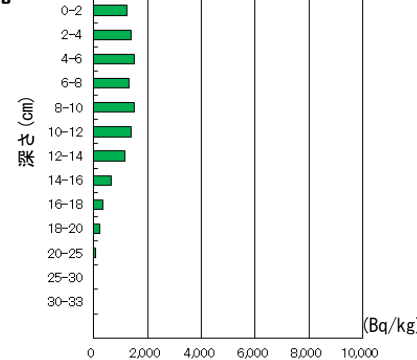
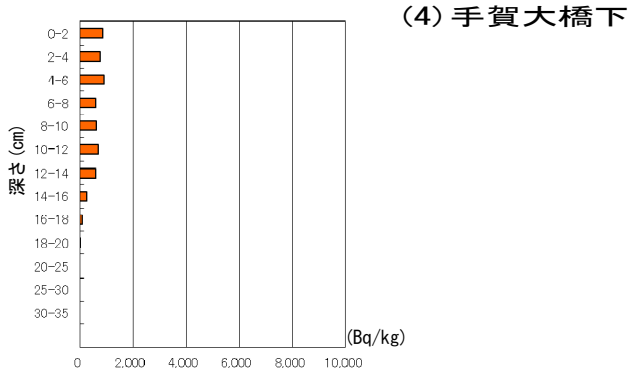
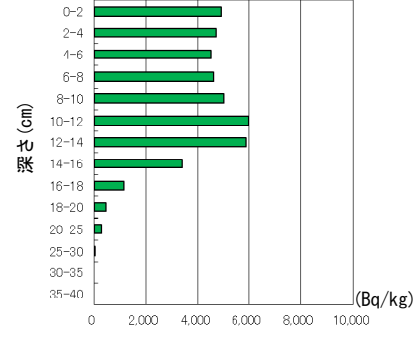
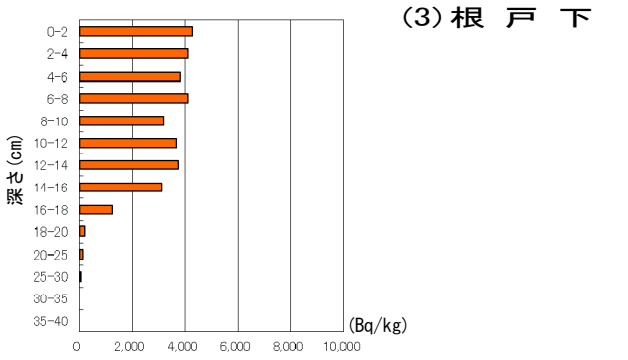
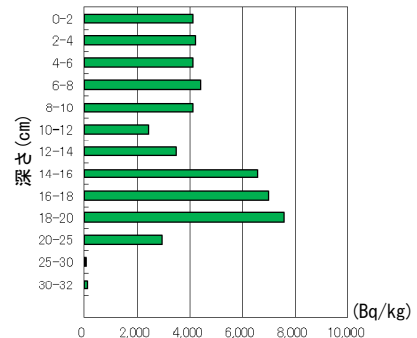
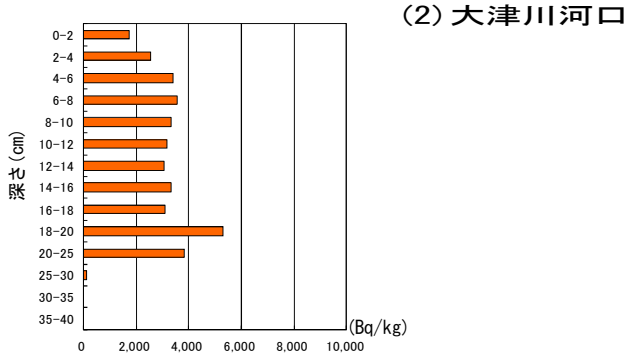
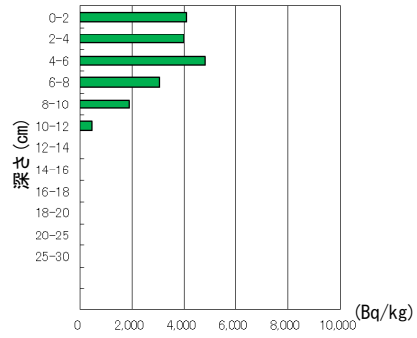
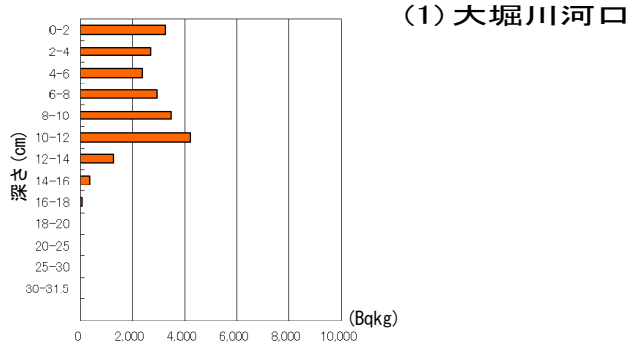


図2 手賀沼底質の深度別放射性セシウム (Cs-134+Cs137) 濃度
 (各地点複数採取した試料のうち最大濃度値を示した試料での深度別濃度)